

事務事業名	公民館施設維持管理事務				担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和49 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	3. 公民館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	公民館は市民の生涯学習施設として、講座・学級・研修・集会の場として活用されており、会議室7室、調理室1室で年間約1,000回の利用がある。 施設は市が直接管理しており、当直業務・設備の保守点検等をシルバー人材センターと民間の専門業者に委託し、管理している。 （委託内容） ・ゴミの収集運搬 ・当直業務 ・冷暖房機器の保守管理 ・自動ドアの保守管理 ・機械警備							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 委託業務 ・ゴミの収集運搬、冷暖房機器、自動ドアの保守を民間業者に委託。 ・従来の宿日直業務を、機械警備及び当直勤務の委託に変更し経費節減を図った。 市民会館の震災復旧工事にあわせ、エレベータの新設、トイレ改修等のリニューアルを実施。 修繕 ・冷暖房空調機器修繕 ・事務室ガラス修繕 ・調理室排水管洗浄 ・調理室給水管漏水修繕  25年度計画 ・新設のエレベータ保守業務委託 ・その他については24年度同様。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	委託件数	件	4	5	5	5	6	
	イ	修繕件数	件	4	2	3	6	6	
	ウ								
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・公民館の施設及び設備・公民館利用者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	建物の延べ床面積	平方m	1,186	1,186	1,186	1,186	1,186	
	イ	利用者数	人	31,367	26,857	24,302	21,227	25,000	
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民に安全で快適な学習の場を提供するため、施設整備の充実を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	利用者からの苦情・要望件数	件	3	0	0	0	0	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 常に施設を快適に利用できるよう維持管理し、市民に生涯学習の場として活用	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	学習テーマを持って日ごろ学習に取り組んでいる市民の割合	%	24.0	12.7	13.4	12.1	13	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,031	3,566	3,614	3,404	0
	事業費計(A)		千円	3,031	3,566	3,614	3,404	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	240	240	240	240	0
			人件費計(B)	千円	973	1,024	1,018	1,008	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	4,004	4,590	4,632	4,412	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	公民館の開館に伴い、維持管理を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	以前は市民会館と公民館合わせて1つの課で担当していたが、平成16年度から市民会館を文化課で公民館を生涯学習課で管理ようになった。 22年度から施設の宿直業務の委託をやめ、機械警備及び当直業務の委託にする。 24年度、公民館リニューアル工事を実施しトイレ、エレベータを新設した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 施設を良好な状態に保ち、利用者が気持ちよく利用できることで生涯学習に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 多様化する市民の学習内容に対応できる公民館施設を維持管理するための施設である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民の学習の場として適切な維持管理が必要である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 故障等の早期発見に努め、適切な保守管理をする。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 適正な施設の維持管理を行わなければ施設本来の機能を発揮することができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の維持管理に必要最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 維持管理の委託契約事務等の最小限の経費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 使用料は、文化施設として、適切な金額を設定している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							